

「いたばし区議会だより」(第168号)(平成26年4月27日発行) 「“検討”」と答弁された質問とその答弁内容

	「“検討”」と答弁された質問	その答弁内容	質問した議員 (敬称略)	ページ
1	上板橋駅前南口再開発事業によって建築が予定されている建築物に日大板橋病院の機能の一部の移転可能性は。	【担当部長】“検討”可能な案と考える。	川口雅敏	3頁
2	流入世代・世帯の特徴を調査し、特に区出身女性の戻り入居を定着させる案を。	【担当部長】他自治体の取組み事例を参考に、若い世代を区内に呼び込んで定着化させるための方策を研究・“検討”する。	坂本あずまお	
3	施設の総合的な底上げのため、計画の作成が必要では。	【担当部長】振興計画の作成を“検討”。	稲永壽廣	
4	水害時の災害事前行動計画(タイムライン)導入は。	【担当部長】国における導入の“検討”状況を見守る。		
5	区と都心区の物価の差を利用して区の商店街を道の駅化し、都心部から顧客を呼び込んでどうか。	【担当部長】商店街連合会や各商店街と十分な話し合いの機会を持ち“検討”していく。		
6	スマート保育施設の保証金について区が財政支援を。	【区長】今後“検討”を進めたい。	佐藤康夫	
7	定期利用保育にも認証保育所など同様の負担軽減を。	【区長】財政状況を見据え、“検討”する。		
8	板橋福祉事務所を情報処理センターに入れることは止め、本庁舎に戻すことを優先にせよ。	【区長】提案内容も含め、十分“検討”する。		
9	屋外施設を併設した本来の青少年センターの設置を。	【区長】場所の確保について“検討”する。		
10	旧高七小やその周辺に関する計画方針の変更について、今すぐ住民説明会を開催せよ。	【区長】地域住民に説明して意向を聞くことは、計画策定するうえで大切なことである。説明方法や時期は今後“検討”する。	いわい桐子	
11	近隣の駐輪場や駐車場を買い上げ、複合施設として中央図書館を建設してはどうか。	【区長】駐輪場などの移転先の問題、土地所有者の意向、区の用地取得に係る財政的課題、建築できる建物の規模など、様々な課題があり、多方面からの“検討”・検証が必要である。	五十嵐やす子	
12	①法人住民税の一部国税化が決定し、26年度に影響は及ばないが、今後の都区財政調整協議でどのように議論が進行するのか。見解を。	【区長】①法人住民税の一部国税化の影響は、地方消費税交付金の増収と不可分の課題であり、かつ、都と特別区の双方が影響を受けることも踏まえて“検討”されたいと考える。	佐々木としたか	4-5頁
13	①空き家対策の中でも特に木造空き家対策が求められているが、今までの取組みの総括と26年度の取組みは。	【区長】①25年度から26年度にかけて、区内全域で老朽建築物等実態調査を実施している。その結果を基に、緊急措置や解体助成対策も視野に入れた条例制定について“検討”していく。		
14	①今後認知症対予防対策が重要になると考えており、予防講習会などに加えてさらなる取組みを。	【区長】①認知症の疑いが生じた場合は、健康長寿医療センターと開始した「認知症早期発見・早期診断推進事業」などを実施する。認知機能低下予防のため、効率的な事業運営を“検討”する。		
15	①中央図書館建替には、中央にふさわしい機能や役割が備わっているべき。現在地にこだわらない建替え計画を。	【教育長】①26年度中に現在地を含めて改築場所を“検討”していく。		
16	②2020年に向けて若きアスリート支援のため、オリンピック道場の開設を。	【区長】②26年度にスポーツプロモーター制度を活用し、青少年へのスポーツ指導などの開催を“検討”している。道場については教育委員会と連携を図りながら“検討”していく。		
17	④コミュニティバスの新規路線の具体的な設定案を示し、早期実現に向けた決意を。	【区長】④区内検討会で、具体的な対象地域や運行車両、運行ルート、収支などについて、実現の可否も含め“検討”中。	松崎いたる	
18	15年度から実施されている児童館子育てサポートは、区内在住、在学の小学1年から4年生までの児童が放課後一時的に留守になる場合や、児童クラブが利用できない土曜日に利用されている。児童クラブの補完的な役割として児童館が行ってきたこの事業の今後の展開はどのようなものになるか。	【区長】児童館子育てサポートは、学童クラブの待機児童やその他の事情で帰宅しても家には誰もいない児童に対し、学校から直接来館できるよう対応している。また新たな施設においても、新あいキッズとの役割分担を明確にしたうえで児童を受け入れることとし、具体的なカリキュラムなどを“検討”している。さらに、土曜日における児童への対応についても、児童への環境変化による影響を考慮し、新たな施設の施設開放での受入れについて具体的に“検討”を進める。	松岡しげゆき	

19	空き家、空き地、老朽家屋、ごみ屋敷対策については、大規模災害時における倒壊防止や二次災害防止の観点からも地域防災計画で明確に整備すべきである。空き家等適正管理条例は、インターネット情報によれば、都内においては足立区、大田区、墨田区、新宿区の特別区4区、八王子市、小平市、国分寺市の多摩地区3市、全国では168自治体が制定している。本区でも制定すべきと考えるが区長の見解は。	【区長】25年度より区内全域において老朽建築物等実態調査を実施しており、25年度中に区内4分の1程度の範囲が終了する。調査結果を基に、実効性ある対策が講じられるよう、他の先進自治体の事例を参考にしながら条例制定も視野に入れて“検討”を進める。	
20	25年度に417人の待機児童が発生したことを受け、26年度に向け477人の定員を増員する準備を進めてきたが、25年12月に締め切られた一次入所申請数は前年を464人上回る結果となった。就学前児童数は微増傾向にあり、保育需要率も伸びが続いている状況では、さらに千人を超える保育サービス定員が必要となる。0～2歳児に関しては、抜本的な保育計画の見直しが必要と考える。区長の見解は。	【区長】26年4月入所申請の状況については、25年度に比べ需要の一段の高まりが見受けられ、特に0～2歳児の重要が高くなっている。保育需要の動向を的確に捉え、第3期保育計画の定員の増加目標の設定については、定員拡大の前倒しなど、さらに踏み込んだ計画となるよう“検討”を加速させていく。	
21	③本区の就学援助認定基準は生活保護基準の1・26倍に設定されている。25年8月から3年間で段階的に実施される生活保護基準の見直しによる影響にどのようにたいおうするのか。	【教育長】③26年度は引き下げ前の生活保護基準を基に就学援助認定を行う。27年度以降は生活保護基準の見直しについて情報収集を行い“検討”していく。	
22	板橋福祉事務所は、区民のセーフティネットを支える重要な部署である。被保護者は増加しており、高齢者が4割を占める。きめ細かな区民サービスのため、本庁舎にあるべきと考えるが見解は。	【区長】本庁舎の低層階には来客数の多い窓口を設置するため、福祉事務所の配置は難しい。MSビルへの暫定配置後は、旧保健所などの隣接区有地を含め、移転先を“検討”。	高橋正憲
23	①2月の大雪では、道路上の車の立ち往生、街路樹の枝折れが目についた。今回を教訓とした今後の雪害対策は。	【区長】①積雪に対する適切な管理、対策を施設管理者に求める。また、26年度は高島平緑地の対策とサクラの街路樹の危険度調査を予定。さらに雪害への対応力や復旧力を高める方策を“検討”。	
24	①大雪や積雪による災害に対するマニュアルの整備状況は。	【区長】①積雪災害の体系的マニュアルは未整備のため、今後“検討”する。	佐藤としのぶ
25	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるには「予防」が大切。空き教室を高齢者優先に開放し、地元にしっかり還元し、最大活用を。	【区長】防犯や防火など施設管理上の問題を含め調整する必要があり、今後も“検討”。	しば佳代子
26	高島平駅に向かう高島通り横断歩道の青信号時間を長くするよう、早急な改善を申請せよ。	【区長】再度、高島平警察署に対し、“検討”を依頼する。	
27	犬の飼い主のモラル向上のための啓発や犬のふんの放置に対する対策は。	【区長】ペットショップへの働きかけ、啓発プレートの区民への配布を実施している。犬のトイレを設置し、ふんの持ち帰りを促す仕組みについて地域住民と“検討”中。	
28	①スポーツプロモーターの創設に伴い、中学校の水泳部の指導や講演活動により未来のオリンピックに夢と希望を。	【区長】①スポーツプロモーターの経験をスポーツ指導者に伝える機会を“検討”。	かいべとも子
29	④児童館における小学生の利用を継続せよ。	【区長】④従来から児童館を利用している小学生への配慮は必要。今後、平日の放課後および土曜日について、新たな施設としてどのような対応が必要か“検討”する。	かなざき文子
30	①新しいキッズの人的質を向上させるため、職員は可能な限り正規職員とし、それが難しい職種では単価アップを行って待遇の改善を。	【教育長】①すぐれた人材の確保や育成について委託法人と意見交換を行い、必要があれば改善を“検討”する。	中妻じょうた
31	大山駅踏切で携帯電話を見ながら歩いていた男性が、踏切が閉まっていることに気がつかずに踏切に進入し、電車に衝突して死亡する事故があった。「ながら歩き」に対する注意喚起の声掛けを、現場周辺の放置自転車防止指導員の業務の1つにしている。	【区長】26年度以降実施できるよう、契約仕様書などの見直しを“検討”する。	
32	②高島平少年サッカー場の人工芝化の実現を。	【区長】②国や都などの補助金制度の活用を前提としつつ、財政状況を踏まえ“検討”する。	山田貴之
33	大人の発達障がい者に対する支援を推進するため、発達障がい者支援センターの設置を。	【区長】世田谷区の成人期発達障害者支援事業UNIを参考に設置を“検討”している。	杉田ひろし
34	理化学研究所板橋分所の研究機能と建造物の保存を。	【区長】研究機能は区内産業への影響を考慮し区立工場ビルへの移設に向け準備している。建造物は保存および活用策の内容を改めて“検討”し、文部科学省に提案していく。	

作成者：紫垣伸也(2014年5月23日作成)